



コース 6

尾張津島から世界へ 津島と世界との接点を探る旅

オススメ 歴史好き淑女



- スタート ↓240m
- ①十王堂 ↓440m
- ②ヨネ・ノグチ生家 ↓830m
- ③杉浦兼松博士碑 ↓160m
- ④片岡春吉像 ↓130m
- ⑤ヨネ・ノグチ銅像 ↓390m
- ⑥堀田家住宅 ↓100m
- ⑦津島神社南鳥居 ↓170m
- ⑧津島神社蕃堀
- ゴール
- 全長約 2460 m

愛知県尾張地方のまち津島。世界と津島の接点と言われてもピンと来ないかもしれません。では、探しましょう！世界的な活躍をした津島の偉人の功績や世界の文化と融合したスポットなど、湊町津島に残る世界との接点を、Let's discover！ここには載っていない世界との接点も探してみても……？

⑤ ヨネ・ノグチ銅像



世界的詩人野口米次郎の銅像です。「ハンサムボーイ」と言われた彼の姿が偲べます。台座には彼の代表作「From the Eastern Sea」の一節が刻まれています。

① 十王堂



津島駅から今市場町の十王堂に向かう通りをハーキュリーズ通りと言います。昭和56(1981)年津島市と姉妹都市になったアメリカ合衆国、カリフォルニア州、ハーキュリーズ市にちなんで名づけられました。十王堂は閻魔大王をはじめとした十王をお祀りしています。

③ 杉浦兼松博士碑



明治22年現在の津島市祢宜町に生まれた、世界的ながん研究者杉浦兼松博士の顕彰碑です。若くして渡米し、当時はまだ地味な分野であった「がん研究」の発展に寄与しました。顕彰碑は藤棚の側にあります。

⑥ 堀田家住宅



堀田家住宅の中には荒神様という竈の神様が祀られています。荒神様は民間信仰の中で大切にされてきましたが、仏教の三宝荒神とも同一視されるなど複雑な由緒を持ちます。外国からやってきた仏教が、日本の民間信仰と習合していく過程を思わせます。

観覧日時：土・日・祝日10:00～15:00
観覧料：300円、平日は5名以上で要予約
【問合せ】社会教育課 0567-24-1111

作成：小路めぐりマップ策定部
中元明孝 鬼頭弘子 池田富義 耕井敏子
大橋忠彦 恒川一三 岩崎勝明 橋本建夫
内田克哉

② ヨネ・ノグチ生家



明治8年、津島に生まれた詩人野口米次郎の生家です。慶應義塾大学に進学後渡米し、米英の詩壇に名を轟かせ「世界のヨネ・ノグチ」として知られました。アメリカ人のレオニー・ギルモアとの間の子「イサム・ノグチ」は芸術家として知られます。

④ 片岡春吉像



片岡春吉は、片岡毛織の創業者として尾張西部地方の毛織物産業の発展に寄与しました。津島で織られた毛織物は海外に出荷され、津島は毛織物でにぎわいました。春吉の遺徳を讃えるため天王川公園に銅像を建立しました。

⑦ 津島神社南鳥居



津島神社の南大鳥居は昭和3年に昭和天皇御大典を記念して、当地出身のアメリカ移民有志の寄進で建てられました。また鳥居の傍らには「御大典記念 感恩報国」の碑が建てられました。

⑧ 津島神社蕃堀



津島神社はこの土地特有の「尾張造」と言われる左右対称の建築様式で建てられています。蕃堀は尾張造独特の建築様式であり、邪気を防ぐ意味があるといえます。アジアの各地域にも蕃堀に似たものがあり、神仏習合の津島天王社に世界とのつながりがあるのでは…とロマンを掻き立てられます。